

R-6015



特長

触媒の性能を評価する上で CO ガス等による触媒の化学吸着量測定は最も重要な物性測定の一つです。

R-6015 型吸着量測定装置はパルス法に基づき、コンピュータに各種パラメータを最初にセットしてスタートさせるだけで、自動的に試料管内の触媒の前処理、ガス吸着量の測定を行い、測定条件と共に吸着量等各種データがプリントアウトされます。

検出器は熱伝導度型で、触媒に吸着されないガス量の変化を測定し、コンピュータで吸着量の触和点を求めて所定の計算式で吸着量を計算します。

特長

1. 高再現性・高信頼性

コンピュータによる全自動測定ですから個人誤差がなく、且つ同一触媒で繰り返し測定が出来ますからその再現性を見ることもでき、信頼できるデータが得られます。

2. 高精度・高感度

高感度検出器を採用し、且つパルスガス導入量も測定に適した量を選択出来ますので、最適な条件で測定することが可能です。従って微妙な吸着量変化も測定出来、吸着量の少ない試料でも高精度、高感度で測定出来ます。

3. 能率の向上

6 検体の触媒を連続で測定出来るため、高能率であり、さらに省力化に貢献します。(注)

4. 広い使用温度範囲

還元温度は、50℃～500℃迄任意の値で行うことが出来ます。(800℃仕様は R-6015-H Type となります)

5. 便利な計算出力

本装置は、触媒のガス吸着量その他、その測定結果に基づき、測定条件と共に触媒の粒子径、比表面積、分散度の計算も同時に行われプリントアウトされます。

(注) 800℃仕様時は 4 検体になります。

仕様

1. 流量制御部

- キャリヤーガス：He (H₂ 吸着の場合は N₂)
ダイヤフラム式自動調圧弁及び定流量弁で 10 ~ 100 ml / 分に設定。
- パージガス (He)、還元ガス (H₂) 及び触媒附着の有機物燃焼用酸素 (O₂) (又は空気)
ダイヤフラム式自動調圧弁とロータメータにより 10 ~ 100 ml / 分に設定。
- 吸着ガス導入部：CO (他ガスご希望の時はご相談に応じます)
方式 自動ロータリー六方バルブ
計量管 2ヶ付 (容量：標準 0.2 ml, 1 ml)
駆動 方式エア駆動方式 (0.4MPa)

2. 試料管切換部

- 方式 電動 6方バルブ

3. 試料管恒温槽

- 温度制御範囲 50 ~ 500℃ 温度変動幅：± 0.1℃ (設定温度 150℃ に於て) (高温仕様 R-6015-H：50 ~ 800℃)
- 制御方式 ヒーターによる加熱及び扉開閉による外気冷却
- 試料管材質：パイレックスガラス又は石英 (オプション) 形状：U字型 最大触媒径：φ3.5mm 内容積：約 5 ml 触媒量：約 3 ml

4. 検出器及び検出器恒温槽

- 検出器 4 素子タングステンフィラメント 熱伝導度方式
- 恒温槽 吸着ガス導入用バルブ内蔵 温度設定 50℃ (強制循環熱風方式)
- 温度変動幅 設定温度 ± 0.1℃

5. コンピュータ部

- 試料数、恒温槽温度セット RS-232C 通信による
- A/D (検出器アナログ出力変換)
- タイマー (コンピュータ内蔵時計)
- データ表示 ガス吸着量、分散率、比表面積、粒子径

6. 電源

- AC100V 12A (50/60Hz)

7. アラーム関連 (※オプション)

- 過昇温警報器 任意の温度に設定できます。
 - H₂ ガス検知警報器
 - CO ガス検知警報器
- 上記の警報を受けた場合と、停電から復帰した場合はヒーターの出力 0、系内を He ガスでパージの状態となります。

※ 記載している仕様、デザインなどは予告なく変更することがあります。予めご了承下さい。

ヘンミ計算尺株式会社

<http://www.hemmi-inc.co.jp/>

ORC 事業部：〒355-0812 埼玉県比企郡滑川町都 25-25

TEL. 0493-56-5111 FAX. 0493-56-5112